

一般質問事項（令和3年第2回遠賀町議会3月定例会）

◆令和3年3月4日（木）

（通告順1） 質問者 萩本 悦子 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	本町における男女共同参画社会推進の取り組みについて	<p>(1) 遠賀町第3次男女共同参画社会推進計画について</p> <p>①第2次男女共同参画社会推進計画の成果と課題についてどのように考えるか。</p> <p>②男女共同参画意識向上のためのさらなる取り組みと家庭や地域における固定的な性別役割分担意識を解消するためのさらなる取り組みについて尋ねる。</p> <p>③意思決定過程への女性の参画を促進するため、審議会等の女性の登用率向上のさらなる取り組みについて尋ねる。</p> <p>④DV被害者が安心して相談できる体制の充実と対応する職員の資質向上に向けての具体的な取り組みと令和2年のDV被害相談件数を尋ねる。</p> <p>⑤性別違和や性的指向により、悩みを抱える児童生徒に対する理解促進や相談体制を充実する取り組みについて尋ねる。</p> <p>⑥中学校の制服において「スラックスかスカート」を生徒が選べる制服選択制を取り入れることについてどのように考えるか。</p> <p>⑦昨年の12月に閣議決定された国の第5次男女共同参画基本計画と本町の第3次男女共同参画社会推進計画についてどのように整合を図っていくのかを尋ねる。</p>	<p>町 長</p> <p>町長・教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>町 長</p>

（通告順2） 質問者 田代 順二 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1) 政府分科会の基本的対処方針には、「特定都道府県に対し、感染多数地域の高齢者施設の従業員等の検査の集中的実施計画を策定し、3月までを目途に実施する」との記述が追加された。専門家は共通して、週1回程度の定期的な検査が必要だと指摘している。町としても、方針通り実施するよう県に働きかけるべきではないか。</p> <p>(2) 医療機関の職員や入院者全員を対象とした一斉・定期的なPCR検査の実施も県に求めるべきではないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

2	新型コロナウイルス感染症対策独自支援策について	<p>(1) 高齢者等に対するPCR検査費用の助成を実施しているが、1人1回ではなく、何度でも検査できるようにすべきではないか。また、費用が比較的低価格の唾液の検査も取り入れて、自己負担をなくすようにすべきではないか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減った世帯に対して、国民健康保険税の減免を実施しているが、来年度も継続してはどうか。</p> <p>(3) 後期高齢者医療保険料についても、減免の継続を広域連合へ求めるべきではないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
3	生活保護について	<p>(1) 厚生労働省のホームページでは「生活保護の申請は国民の権利です」と表示している。生活に困窮している住民がためらわずに相談できるよう本町のホームページでも表示したらどうか。</p>	町 長
4	小学校の定員引き下げについて	<p>(1) 北九州市は、国の計画に先駆けて新年度より公立小学校全学年で1クラスの定員を35人に引き下げる。本町でも国に先駆けて引き下げる考えはないか。</p>	教育長
5	改定種苗法について	<p>(1) 国に登録された作物の種や苗を農家が自家増殖する場合、許諾料の支払いを求めて事実上禁止される。自家増殖の事実上の禁止は、農業者の権利を奪い、種苗の単なる利用者・消費者にするもので、農業の多様性や生産者の創造性を奪うことになりかねない。町内の農業者への影響について把握しているのか。</p>	町 長